

成果の説明書

(氏名) 高橋 美佐	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>(研究)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 標本調査におけるサンプリング(調査票の配布設計)に関する研究 <p>数理統計学の観点から、標本調査におけるサンプリング方法と標本精度の関係について研究をおこなった。アンケート調査では一般にすべての調査対象者の代わりにその一部を抜き出すサンプリング(標本抽出)が行われる。一般に、対象全体を複数の層に分割し、層ごとに無作為抽出をおこなう層別抽出のほうが、層分割をおこなわない単純無作為抽出よりも標本精度がよいといわれているが、必ずしも当てはまらない場合もあり、また、適切な層の分割の方法が問題となる。そこで、母集団の性質と層別サンプリングの効果の関係に注目し、層別サンプリングが望ましくない場合や、層の適切な分割方法について研究した。</p> <p>(教育)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 学部基礎教育科目の情報分野担当の非常勤講師のコーディネートや連絡業務を担当し、授業の円滑な運営と内容の充実に努めた。	
<p>2 その他の事項</p> <p>特になし</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>(研究)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 標本調査におけるサンプリング(調査票の配布設計)に関する研究 <p>今年度の研究をもとにいくつかの数値実験をおこない、研究報告をおこなう予定である。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 人の社会移動に関する研究 <p>(本年度はあまり着手できなかったため)昨年度おこなった人の地域間移動に関する基礎調査をもとに、周辺地域との相対位置などの空間的要因がその地域の人口集積に与える影響について分析する。</p> <p>(教育)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 引き続き、学生、特に新入生の情報リテラシーレベルの動向と社会環境の変化に注意し、「情報基礎 I」、「情報基礎 II」科目を中心に学部基礎教育科目の情報分野における円滑な運営と内容の充実に努めたい。クラウドサービスやパソコンと他の情報端末との連携などを中心に学生の IT 活用状況について調査を実施する予定である。	